

平成26年度事業計画

I 事業の推進に当たって

新たに発足する公益法人として埋蔵文化財の保護・調査研究を行うとともに埋蔵文化財に親しむ機会を提供・普及啓発を図り、文化振興の寄与を目的に事業を推進する。

II 主要実施事業

1 発掘調査 [資料1]

民間調査組織を活用し、以下の発掘調査を実施し、発掘調査の一層の迅速化を図る。調査精度を維持するとともに、経費節減に努める。また、現地発掘作業と併行して整理報告作業に着手し、発掘調査報告書の年度内刊行を目指す。

本発掘調査 82,803 m²

ア 直轄国道関係 (9遺跡 82,535m²)

イ 鉄道運輸機構関係 (1遺跡 268m²)

2 発掘調査報告書作成 [資料2]

国交省直轄国道関係の10遺跡について、整理・報告作業を行う。

- ・整理編集・報告書刊行まで : 6遺跡
- ・報告書刊行のみ : 2遺跡
- ・整理編集まで : 2遺跡

3 保存処理 [資料3]

ア 木器保存処理

- ・トレハロースを使用した保存処理を行う。
- ・保存処理による収縮・変形への対処・補正のため、処理前に実測・写真撮影等の記録作業を行う（実測対象物は保存処理工程と連動する）。

イ 金属器保存処理

脱塩・脱硫、樹脂含浸による保存処理を行う。

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管し、考古学・歴史学などの学習・研究資料として活用する。

(1) 保管

ア 出土品・記録資料の保管

イ 図書類の保管

(2) 記録類の整理

図面のマイクロフィルム化作業

(3) 資料の活用・貸出し・閲覧

ア 出土品、写真等の貸出し

イ 埋蔵文化財に関する調査・研究を進めるため、情報・資料・図書等の収集を行

い、併せて研究者・県民等の利用・閲覧の場を提供する。

5 普及啓発

現地説明会、越後国域確定1300年記念事業、学校等が行う体験学習への支援など普及事業を行うとともに、発掘調査報告書や各種広報紙の発行により、調査成果を県民に還元する。平成26年度からは、財団が独自に国庫補助を受け、普及事業の充実に務める。

(1) 普及啓発

ア 埋蔵文化財センター内の展示

常設展示のほか、平成23・24年度発掘調査資料の公開展示（～7月13日）と「越後国域確定1300年記念企画展」を開催する。

イ 埋蔵文化財センター利用者の見学案内

埋蔵文化財センターの施設や展示品等の説明案内希望者に対応する。

ウ 現地説明会の開催や当該市町村での出土品の展示公開

発掘調査現場において、調査中の遺構・遺物を公開し調査成果を速報するとともに平成26年度からは当該市町村で出土品の展示公開も行う。

エ 「越後国域確定1300年記念事業」（3年計画の3年目）

（県との共催事業）

県教育委員会が主催する「越後国域確定1300年記念事業」のうち、埋蔵文化財センターで実施するリレー講演会（10回中5回）

【リレー講演会】センター会場分

- ・会場：埋蔵文化財センター研修室
- ・日時：平成26年5月11日（第1回）、10月5日（第6回）、11月16日（第7回）
12月7日（第8回）、平成27年1月18日（第9回）

（事業団主催事業）

【企画展】

- ・会場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期間：平成26年7月26日（土）～12月7日（日）
- ・タイトル：越後国域確定1300年記念企画展
「遺跡が語る縄文時代の新潟県」

【まいぶん祭り】

- ・会場：埋蔵文化財センター
- ・日時：平成26年9月20日（土）
- ・内容：火起こし、勾玉作り、バックヤードツアー等

【親子考古学教室】

- ・会場：埋蔵文化財センター
- ・日時：平成26年8月9日（土）、8月15日（金）、8月24日（日）
- ・内容：センターの仕事・展示品説明、火起こし、勾玉作り、土器作り等

【巡回展 「遺跡が語る新潟県の歴史」】

- ・会場：新潟県立歴史博物館（県博 冬季企画展）
- ・日時：平成26年12月20日（土）～平成27年3月22日（日）
- ・内容：過去3回の企画展展示品を展示

オ 体験学習・出前授業

学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学など校外学習に対する支援や希望する学校に指導者を派遣し、出前授業を行う。

カ 「にいつ花ふるフェスタ」への参加

新津商工会議所等が主催する「にいつ花ふるフェスタ」に参加し、火起こし体験、勾玉作り、展示解説などを実施する。

・会場：埋蔵文化財センター

・期 日：平成26年6月1日（日） 10：00～16：00

キ 「フラワースタンプラリー」への参加

公益財団法人新潟県都市緑化センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者に抽選で景品を贈呈する。

・期 間：平成26年4月19日（土）～6月22日（日）

(2) 広報紙・調査研究誌等の発行

ア 広報紙「埋文にいがた」の発行

・刊 行：年4回（No.87～90） 各2,200部

・配付先：小・中・高校、市町村教育委員会、図書館、博物館
都道府県教育委員会、その他関係機関

イ 「年報」の発行

・刊 行：年1回 500部

・配付先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会
その他関係機関

ウ 「発掘調査報告書」の発行

・刊 行：随時 各300部

・配付先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会
その他関係機関

エ ホームページによる情報の提供

・事業団の催物や事業内容、日々変化する発掘現場の様子、「埋文にいがた」などの情報を掲示する。

6 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し、情報の共有化を図るとともに発掘調査業務に対して迅速に対応するため各種の研修を行う。また、要請に応じて市町村発掘調査技術指導などを行う。

(1) 市町村発掘調査指導

要請に応じて随時実施する

(2) 職員研修

ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修

イ 関ブロ共同研修

ウ （独）奈良文化財研究所主催研修等

エ 県教委主催専門職員研修

オ 文化庁埋文担当職員等講習会

(3) 安全衛生研修等

- ア 安全衛生講習（5月）
- イ 火災訓練（7月）

7 埋蔵文化財センターの管理運営

指定管理者として、埋蔵文化財センターが快適な環境のもとで利用が行われるよう、センターの運営及び施設・設備機器の保守管理を行う。

なお、財団が当面存続されるとの県方針が決定されたことから、新潟県との埋蔵文化財センターの管理運営に関する協定期間は5年とする。

8 全国埋蔵文化財法人連絡協議会

- (1) 総会：岩手県（6月予定）
- (2) 研修：奈良県元興寺（10月予定）
- (3) 中部・北陸ブロック連絡会議：石川県（10月予定）

III 事業推進体制

1 評議員会

評議員（4）

5月	定例評議員会	事業報告、決算計算書類の承認
----	--------	----------------

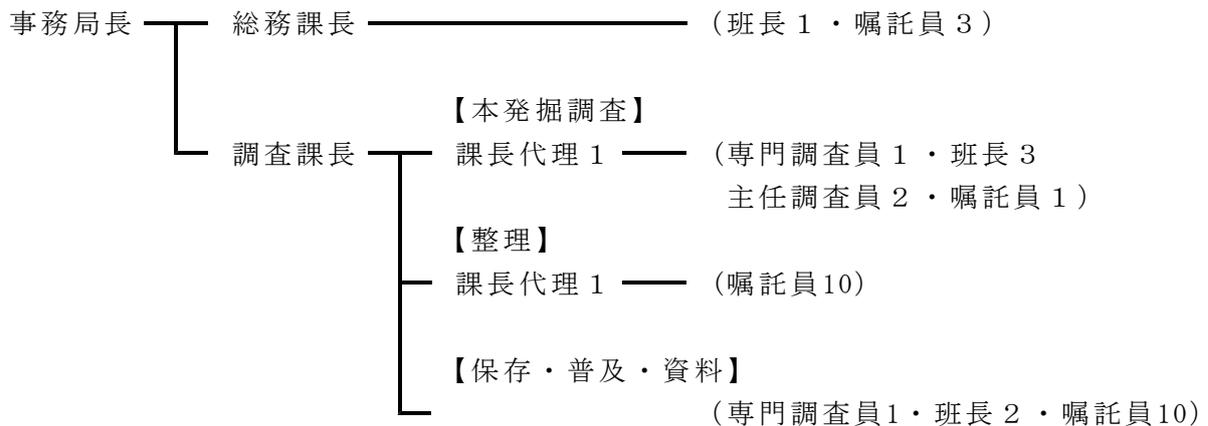
2 理事会

理事長（1）	—————	専務理事（1）	—————	理事（2）
				監事（2）

5月	第1回定例理事会	決算の承認等
----	----------	--------

3月	第2回定例理事会	事業計画、収支予算の承認等
----	----------	---------------

3 事務局



職員数 39人（正職員1人、派遣職員14人、嘱託員24人）

平成26年度調査計画

[本発掘調査]

事業者	事業名		遺跡名	所 在	調査対象(m ²)	現地期間	25年度当初(m ²)	
(独)鉄道運輸機構	北陸新幹線	市道付替工	須沢角地遺跡Ⅴ	糸魚川市	268	4・5月	0	
	小 計				268		0	
東日本高速道路(株)								
	小 計						175	
国土交通省	新潟国道	49号阿賀野BP	境塚遺跡Ⅱ	阿賀野市	9,284	4～11月		
			新町遺跡	阿賀野市	6,750	4～9月		
			柄目木遺跡Ⅳ	阿賀野市	434	10月		
	長岡国道	8号柏崎BP	17号六日町BP	余川中道遺跡Ⅳ	南魚沼市	9,427		4～10月
			宝田遺跡Ⅱ	柏崎市	26,640	4～11月		
			山崎遺跡Ⅱ	柏崎市	11,000	4～11月		
			丘江遺跡	柏崎市	10,000	4～11月		
	高田河国	253号上越三和道路	狐宮遺跡Ⅲ	上越市	2,200	4～6月		
			堂古遺跡	上越市	6,800	6～10月		
	小 計				82,535			41,933
				計	82,803		42,108	

平成 26 年度 整理・報告計画

事業者	事業名	遺跡名	現地調査	26年度作業		
				整理	刊行	
国土交通省	新潟国道	49号阿賀野BP	山口野中遺跡	H25	○	○
	長岡国道	17号六日町BP	余川中道遺跡	H21・25	○	○
			金屋遺跡	H21	○	○
		8号柏崎BP	小峯遺跡	H10・11	○	○
			箕輪遺跡	H8～12		○
	17号拡幅	中潟館跡	H5	○		
	高田河川	8号糸魚川東BP	六反田南遺跡	H22～25	○	
			横マクリ遺跡	H19	○	○

※ このほか、26年度現地発掘遺跡の整理を行う。

平成26年度 保存処理計画

1 重点項目

- ①トレハロース含浸処理法の作業工程の確立
- ②増設した大型含浸槽の稼働

2 保存処理対象遺物

*箱：34×54×10cm / カゴ：90×150×60cm

遺物種類	分類	作業内容	対象遺物	数量
木製品	小型木製品	記録作成	平成25年度までに報告書が刊行した木製品 (228集山岸、245集野地Ⅱ、246集剣野沢、248集山口野中+α)	未確定
		トレハロース含浸	232境塚、234千古作Ⅱ、236延命寺Ⅱ、237柄目木Ⅱ、238小坂居付 企画展出展木製品	206箱 未確定
		表面処理・修復 (ラクチトール処理)	201集延命寺、202集前波南・六反田南、203集狐塚、205集田伏山崎 208集姥ヶ入製鉄、210集荒町南新田、211集六反田南Ⅱ、238集小坂居付	37箱
		表面処理・修復 (トレハロース処理)	212集岩ノ原Ⅱ・諏訪前・中田原Ⅱ・北新田Ⅱ、214集千古作・香積寺沢 215集山口、216集柄目木Ⅰ、218集下新保高田 企画展出展木製品	36箱 未確定
	大型木製品	記録作成・糖アルコール含浸	133集青田	4カゴ
		表面処理・修復	133集青田	2カゴ
金属製品	鉄製品	記録作成～修復	28集木崎山	300点
	青銅製品	記録作成～修復	28集木崎山	60点

3 作業内容とスケジュール

■ 保存処理

作業内容	年月	H26												H27			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
木製品 保存処理	～H25年度報告書刊行分台帳作成・洗浄・収納	[作業内容]															
	小型槽	報告会・企画展出展品	[作業内容]														
		238集小坂居付	[作業内容]														
	238集小坂居付	[作業内容]															
大型槽	133集青田	[作業内容]															
金属製品保存処理	H25年度報告書刊行分台帳作成・洗浄・収納	[作業内容]															
	鉄製品・青銅製品の保存処理	[作業内容]															
収蔵庫3・保管棟・ビニールハウスの点検(水換えなど)		随時															
発掘・整理現場の脆弱遺物対応(取り上げなど)		随時															